



とちの木

学び合う子供 支え合う子供 きたえ合う子供
元気なあいさつのできるあけ小っ子

第 10 号

令和 7 年 12 月 23 日

児童数 320 名

文責 教頭



「あけの平小ブログ」

<https://tomiya-akenodairaes.edumap.jp/school-blog>

年末の御挨拶と冬休みの過ごし方について

今年度も、4月からの学校生活を振り返ると、運動会や学習発表会をはじめ、6年生の修学旅行、5年生の野外活動など、各種学校行事を予定通り実施することができました。加えて、各学年での校外学習（1年生：八木山動物園 2年生：うみの杜水族館 3年生：キリンビール工場や蒲鉾工場、市役所、富谷消防署等 4年生：鹿島台、品井沼方面 5年生：トヨタ大衡工場 6年生：歴史博物館）や日々の授業活動も、子供たちが意欲的に取り組む姿が見られ、充実した学びの時間となりました。これもひとえに、保護者の皆様の御理解と御協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

さて、12月24日（水）から15日間の冬季休業期間に入ります。年末年始は、子供たちがこれまでの生活を振り返り、新たな年に向けて希望や目標を育む貴重な機会となります。また、家庭の一員としての役割を意識し、家族との関わりを深める良い時期でもあります。この季節には、日本の伝統的な行事が多くございます。大晦日の年越しそば、新年の松飾りやお雑煮、年賀状の交換、「あけましておめでとうございます」と交わす新年の挨拶、そして子供たちが楽しみにしているお年玉など、家庭内で季節の移ろいを感じじうことができる行事が数多くございます。冬休み中は、こうした家庭行事を楽しみながらも、寒さが一段と厳しくなる時期でもあります。健康管理の面では、「運動・睡眠・栄養」の三要素を意識した生活を心掛けることで、免疫力を高め、元気に過ごすことができます。御家庭におかれましても、子供たちへの適切なお声掛けをお願いいたします。

皆様におかれましては、どうぞ良いお年をお迎えくださいますようお祈り申し上げます。教職員一同、令和8年1月8日（木）に子供たちの元気な姿に再び会えることを楽しみにしております。



あいさつ運動

活動は、毎朝7時50分から8時10分までの20分間、昇降口や廊下で行うもので、週に1回のペースで全クラスが順番に担当しています。この企画は、単に「あいさつをする」という活動に留まらず、全児童が主体的に参加できる仕組みを企画委員会を中心となって考えました。あいさつは、人間関係を築くための基本です。この運動を通して、子供たちが自ら進んで他者に声を掛け、相手の目を見て笑顔で接する習慣を身に付けることで、コミュニケーション能力と積極的な社会性を育みます。これは学校生活だけでなく、将来社会で生活していく上での土台となります。元気なあいさつが飛び交うことで、学校全体に活気と温かい雰囲気が生まれます。明るく心地よい環境は、子供たちが安心して学校生活を送り、学習や活動に意欲的に取り組むための基盤となります。また、あいさつはいじめの予防や問題行動の減少にもつながり、心理的な安全性の向上にも役立ちます。これからも、心を通わせるあいさつを大切にし、笑顔があふれる活気ある学び舎を築き上げていきたいと考えています。



令和7年度富谷黒川地区PTA連合会 会員研修会 より

演題 「スマホはどこまで脳を壊すか」 講師 楠 浩平 先生（東北大学応用認知神経科学センター研究教育戦略部門）

近年、インターネットやスマートフォンの普及により、私たちの生活は大きく変化しました。大人にとって便利なこれらのツールは、子供たちにとっても身近な存在となり、学習やコミュニケーションの場面でも活用されています。しかしその一方で、オンライン習慣が子どもの脳の発達や学力、コミュニケーション能力にどのような影響を与えるのか、脳科学の研究が進むにつれてさまざまなリスクが明らかになってきました。家庭と学校が協力し、デジタルとの健全な付き合い方を考えることがこれまで以上に重要になっています。特に注目されているのが、脳の「前頭前野」への影響です。前頭前野は思考力、判断力、感情のコントロール、計画性など、人間らしい行動を支える重要な領域で、小学校高学年から20歳頃までゆっくり発達します。しかし、インターネット依存度が高いほど前頭前野の働きが弱くなることが研究で示されており、注意力や自己コントロール力が低下し、アルコール依存症の人と同程度の成績になる例も報告されています。子供のスマホ利用に関しても深刻なデータがあります。スマホの使用時間が長い小学生ほど学力が低い傾向があり、勉強時間や睡眠時間を確保していても、長時間スマホを使う子供は学力が伸びにくくすることが分かっています。また、スマホが近くにあるだけで注意力が下がり、学習効率が落ちるという研究もあります。これは単なる「時間の奪い合い」ではなく、脳の発達そのものに影響している可能性が指摘されています。コミュニケーション面でもオンライン習慣には注意が必要です。対面での会話では、相手と脳の活動が「同期」し、共感や安心感が生まれます。しかしオンラインでは視線が合いにくいことや映像の遅延などにより、この同期がほとんど起こらず、コミュニケーションの質が低下しやすいことが分かっています。情報共有だけならオンラインでも十分ですが、気持ちを伝え合う場面や重要な決定には対面が適しています。では、オンライン習慣とどう向き合えばよいのでしょうか。インターネット依存の長期的影響はまだ明確ではないものの、短期的な症状は改善できることが示されています。心理療法や薬物療法に加え、スマホの使用時間を減らす「デジタルデトックス」も効果的です。ポイントは「オンラインでなければできないことだけ残す」ことで、決済や連絡など必要な部分は活用しつつ、娛樂的な利用を減らしていく方法が無理なく続けられます。これは前頭前野の働きを必要としますが、少しずつ取り組むことでその機能を鍛えることにもつながります。スマホは便利で魅力的な道具ですが、使い方を誤ると子供の成長に大きな影響を与えます。家庭でルールを決めたり、スマホ以外の遊びや体験の時間を意識的に増やしたりすることが、子どもの健やかな発達を支える第一歩です。保護者と学校が協力し、子供たちがデジタルと上手に付き合いながら成長できる環境を整えていくことが求められています。

1・2月行事予定 ※急な変更については、一斉メール等でお知らせいたします。

日	月	火	水	木	金	土
				1／1 元日 冬季休業	2 冬季休業	3
4	5 冬季休業	6 冬季休業	7 冬季休業	8 安全の日 朝会 街頭指導 B4給食弁当なし	9 全校5限	10
11	12 成人の日	13	14 委員会 読書タイム	15 SC	16 放送訓練	17
18	19 トイレピカピカの日	20 先輩の話を聞く会 (6年)	21	22	23 新入生保護者説明会 1・2年4限	24
25	26	27	28 児童集会	29 SC	30	31
2/1	2 安全の日 代表委員会	3	4 朝会 学校評議員会	5 SC	6	7
8	9 トイレピカピカの日	10	11 建国記念の日	12	13 弁当の日 授業参観 懇談会	14
15	16 金管卒業演奏会(放課後)	17	18 委員会 感謝の会	19 SC	20	21
22	23 天皇誕生日	24 全校5限	25 全校5限 読書タイム	26 SC 全校5限	27 全校5限	28

※「SC」はスクールカウンセラー来校日です。※「委員会」は第5・6学年児童対象となります。

※ 冬季休業中の緊急の連絡については、080-3124-3312 へお願ひいたします。